

WORLD NEWS

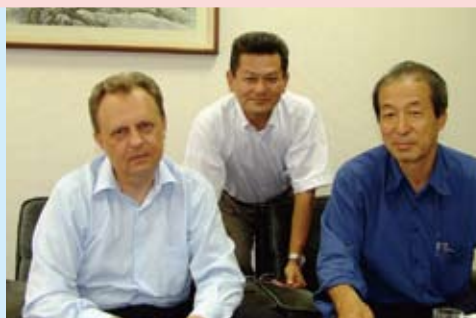
最新鋭カニカマライン 20年ぶりにロシア極東へ

国際部 部長 谷村俊文

8月初旬、ロシア極東部のユーザーであるKVEN社向けカニカマ製造ラインが完成し、同社よりEVGENIY MORGUNKOV社長が試運転転立ち会のため来社されました。

同社へは約20年前にスティールベルト式焙焼機タイプのカニカマ製造ラインを納入し現在まで順調に稼働されておりましたが、生産量増強の計画が進み、これを機に全ライン入れ替えの方向での今回の新設備納入となりました。

同社では現在主にロシア極東地域でカニカマの販売をされていますが、今回同時購入いただいたスーパースノークラブラインでも高付加価値の製品を開発し、極東地域での拡販、またモスクワ方面へも販路を拡大していきたいとのことで、今後の同社の発展が楽しみです。



(左)EVGENIY MORGUNKOV
社長(中)国際部谷村部長
(右)ロシア販売協力会社
JTS(Japan Tool Service)
岩本社長



SEAFOOD PROCESSING EUROPE 2011

国際部 大田幸雄

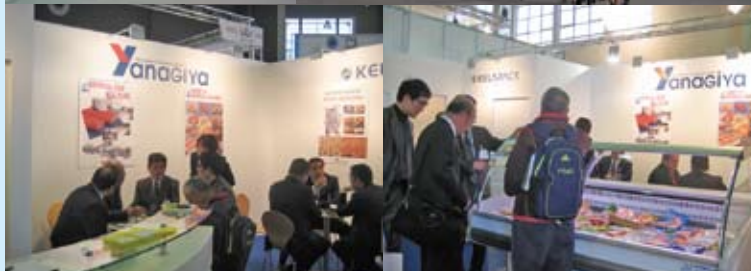
5月3日～5日の3日間、今年もブリュッセルでシーフードショー (Seafood Processing Europe 2011)が開催され、弊社は2001年の初出展以来、今年で11回目の出展となりますが、私は今回初めて参加させて頂きました。

ブリュッセルのシーフードショーは、シーフード需要の高まりと共にその規模も拡大、ボストンのシーフードショーと並んで世界の2大水産見本市と呼ばれる展示会と聞いていましたが、その名の通り、大規模且つ活気に満ちたものでした。

中でも世界最大のカニカマメーカーであるリトアニアのビシュナイブスでは最新の「スーパースノークラブ」をはじめ、型成形のカニ爪風など多品種のカニカマの展示試食コーナーが設けられ、また、各国のカニカマ関連製品を一堂で再認識することが出来、大変勉強になりました。

今回、弊社のブースはこれまでのような機械の展示は行わず、映像プロモーション用の大型モニターや、カニカマ・蒲鉾・竹輪・ソーセージなど日本製サンプルの陳列台を設置し、スーパースノー製品の試食コーナーを設けましたが、欧州・アジアの長年のお客様や新規の方々にも多数弊社ブースをご訪問頂き、新規案件の打ち合わせなども含め、弊社としても大変有意義なシーフードショーとなりました。

このような展示会では同時に多くのお客様から生の声を聞くことのできる絶好の機会でありますので、それらをもとにお客様の考えに立った設備提案・改善提案などを今後とも心がけて行きたいと思っています。



▼世界最大のカニカマメーカー「ビシュナイ」ブース

